

ainote 8

学校法人藍野大学 広報誌

アイノテ

2024
August

Saluti et solatio aegrorum

CONTENTS

Message from AINO

大阪阿倍野キャンパス
新校舎完成

びわこリハビリテーション専門職大学
言語聴覚療法学科新設

AINO TOPICS

AINO's NEWS

学校法人藍野大学の最新ニュースをご紹介します

2023年度決算

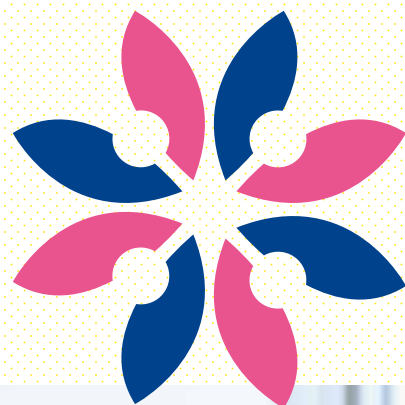
寄付金募集のご案内



学生・生徒のみなさんへ

MESSAGE from AINO

今、未来への道を
拓こうとする
君たちへ



「建学の精神」に 託した思い

学校法人藍野大学は、1968年に医療法人恒昭会藍野病院附属准看護学院を開設して以来、建学の精神である「愛智精神(Philo-sophia)」にもとづく人間教育」と教育理念である「Saluti et solatio aegrorum(病める人々を医やすばかりでなく慰めるために)」のもと、人間愛と知性と情操を高め、継続的な自己研鑽を基礎に深い探究心をもった医療従事者を輩出して参りました。「アフターコロナ」への転換に伴う急激な社会構造の変化の中、日本の社会は最新の知見に根ざした医療サービスとともに、地域に密着し、心の通った安心できる医療の提供を求めています。学校法人藍野大学は、そうした社会の要請に応え、日本の地域医療の質の向上に貢献します。我々は、皆さんが学校生活において有意義な経験を積み、人と地域に貢献する素晴らしい医療人材に育つことを期待しています。

学校法人藍野大学 | 理事長 小山 英夫



BENETTO YOU
 人の想いに応え、ここからただ、
 そして生活を支える医療人へ

超高齢社会を迎え疾病構造も変化し、「身体的な治療に主眼を置く医療」から「患者さんの人生・生活を支える医療」へと大きく転換しつつあります。患者さんの生活や人生に関わる医療現場では、患者さんや家族、そして医療者が対話を繰り返し、それぞれが納得できる解決方法を模索する必要があります。そのため、医療者に求められることは、知識や技術の取得のみならず、コミュニケーション力、論理的思考力を養い、更に協働での問題解決能力を育むことです。藍野大学で「シン・メディカル」を通じて多職種連携教育を実践し、様々な専門職が対話と議論を重ね、協働する中で患者さん中心の医療を実現していく新しい医療の在り方を身に付け、熱意とフィロソフィーを持った医療人になれるよう、共に目指していきましょう。

藍野大学 | 学長 佐々木 恵雲



**医療・介護・福祉・教育の
 分野でリーダーとなる
 未来の医療人に**

今年4月にびわこ八日市キャンパスを開設するとともに、新たに言語聴覚療法学科を開設し、滋賀県唯一の理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士の養成機関として万全の体制が整いました。本学の教育の目的は、高い倫理観と豊かな人間性、実践の理論に裏付けられた専門的な知識と技術を身に付けた有能な医療人材を養成することです。さらに私としては「滋賀の医療人」を養成したいと考えています。「滋賀の医療人」とは、社会福祉の父と呼ばれた滋賀県が誇る糸賀一雄先生の考えを理解し、実践できる医療人です。このような「滋賀の医療人」は地域共生社会の実現に貢献するとともに、地域住民の健康寿命の延伸、QOLの維持・向上による「健康しが」の実現に寄与するものと考えます。

びわこリハビリテーション専門職大学 | 学長 角野 文彦



**柔軟性のある
 医療人を目指して**

2025年4月に藍野大学短期大学部は大阪市阿倍野区へ移転・統合し、毎年180名の看護師と40名の保健師を輩出するナースアイランドになります。本学では、患者さんの話に耳を傾ける能力（傾聴力）と、患者さんに適切な表現を用いて伝える能力（説明力）を高めることを目標としています。傾聴力と説明力のある医療人は、自分の考えに固執しすぎることなく、相手の意見を柔軟に取り入れ、場面に応じて自分の行動も柔軟に変容することができます。この柔軟性のある人こそが、次世代に求められる医療人であり、真のコミュニケーションができる人だと思います。医療の知識や技術を習得することに加えて、人間性を磨くことも忘れないようにして欲しいと思います。私たち教職員は皆さんの夢が現実になるように応援しています。

藍野大学短期大学部 | 学長 足利 学



**新しい学びの場で
 新しい自分を作りましょう
 変化は大きなチャンス！**

新入学、学年進級と皆さんは次のステップに進みました。今、私たちの前には、整った素晴らしい学びの場、新校舎が待っています。そして、その抜群の環境が大きく皆さんの未来を応援してくれています。新校舎での友人や先生との交流、未来への語り合い、整った学習環境での学びなど、自分力を高めるチャンスが来ました。大きく変化する現代社会で、これからは社会が求める次の人材を目指し、自分を表現できるたくましい人間となってください。また人々や、地域社会にも貢献できる人材として、知識豊かな医療人を目指し、その学びをより一層深めてください。

明浄学院高等学校 | 校長 渡邊 雅彦

New!

2024年4月 明浄学院高等学校の 新校舎が完成

新しい明浄学院高等学校の校舎のコンセプトは「心に寄り添い、志を育む母校」。自然光がたっぷり差し込む明るい校舎に、コミュニティ・ラウンジやライブラリーなど、仲間と一緒に学び合い、語り合える空間を配置します。

MEIJO GAKUIN
HIGH SCHOOL
NEW BUILDING



広くて
開放的！

エントランス

情報発信や展示を兼ねたスペースです。空間にアクセントを与える照明デザイン、さらには活動を可視化するガラスパーティションを施しています。

多彩な専用教室や充実の設備で



ファッション メイクルーム

最新のトレンドを学びながらメイクアップやヘアメイクの技術を身につける実習室です。鏡張りの壁や天井から吊り下げるタイプのコンセントなど、美容専門学校と同じ仕様になっています。



クッキング ルーム

先生の手元を映すライブカメラやフルフラットになる調理台、IHクッキングヒーターなど最新の設備が整っています。



音楽室

防音仕様で、幼児教育専攻のピアノレッスンルームとしても活用します。



作法室

100年の伝統を受け継ぐ和モダンな空間です。礼法の授業をはじめ、茶道部や箏曲部など部活動にも利用されます。

見どころが
いっぱい！





ライブラリー 壁面を活用した自習スペースや気軽に利用できるオープンな相談コーナーが設けられています。



中庭 緑溢れるオープンスペースでリラックスしたひと時を過ごせます。



コミュニティ・ラウンジ 情報発信を備えたスペースでお出迎えします。

クラスを超えて
友だちが
できるよ!



学 び や ふ れ あ い を 高 め る 環 境 が 整 い ま し た



看護実習室 約20台のベッドを配置する広々とした実習室です。患者さん役と看護師役に分かれてロールプレイを行うなど、実践的な医療や看護を学びます。

広い!
&
実践的に学べる!



全館
Wi-Fi
完備!

学校生活が
もっと楽しみ!



アリーナ (新体育館) シンプルかつ使い勝手の良い導線を確保し、省エネ性に配慮した空調完備の最新の体育館です。

New!

びわこリハビリテーション専門職大学 「言語聴覚療法学科」新設!

滋賀県初の言語聴覚士養成校として2024年4月に「言語聴覚療法学科」を開設しました。



Message
from

学科長からのメッセージ

言語聴覚士と聞くと特殊な専門家という印象がありますが、その活動範囲は広範にわたります。臨床領域としては聴覚とともに声や発音、飲み込み(摂食嚥下)、言語、さらには認知の障害に対応します。摂食嚥下障害や高次脳機能障害(脳損傷に伴う認知・行動の障害)は21世紀に入ってから、その治療介入の技法が発展しています。年齢的にも小児から高齢者まで、医療機関、介護施設、福祉施設、さらには行政機関と連携して地域在住の言語聴覚障害者の支援や地域の環境作りに及びます。地域包括ケアや災害支援、さらには言語障害者のコミュニケーション支援も展開されています。4年間で言語聴覚士として必要な医学・心理・言語・社会福祉の知識と言語聴覚士としての評価と治療介入の知識・技能、さらにはリハビリテーション職種としての基本的態度を学びます。滋賀県内初の言語聴覚士養成校として関係機関と連携して滋賀県の言語聴覚障害者の医療福祉に貢献していきます。社会の期待を背景に就職状況はきわめて良好です。発展が著しい言語聴覚リハビリテーションの世界へ参加してください。私たちは心からお待ちしています。



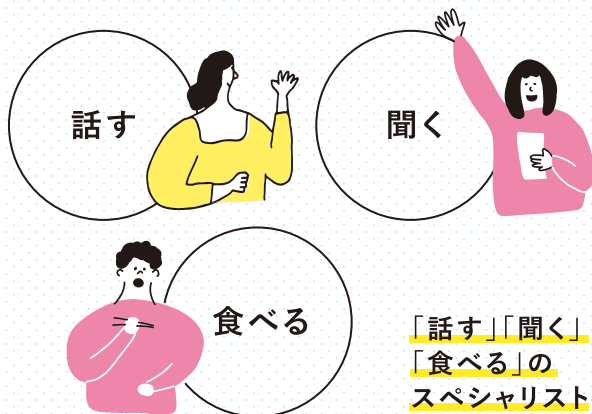
言語聴覚療法学科 | 学科長 種村 純

経
歴

早稲田大学教育学部教育学科教育心理学専修 卒業
早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程 修了
リハビリテーションセンター鹿教湯病院臨床心理士
明星大学大学院人文学研究科心理学専攻博士課程 修了
伊豆蕪山温泉病院 言語室長
川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚学科

言語聴覚士とは？

ことばや聴こえなどコミュニケーションに障害のある方に対して、また咀嚼・嚥下（飲み込み）など摂食に障害がある方に対して、相談・評価・検査・訓練・指導・助言などの援助とQOL（生活・生命の質）の向上や社会参加のための支援を行う職種です。またご家族や周囲の方々からの相談にもお応えいたします。医療機関だけでなく、保健、福祉施設、教育機関など幅広い領域で活躍できます。



とれる資格は？

学位

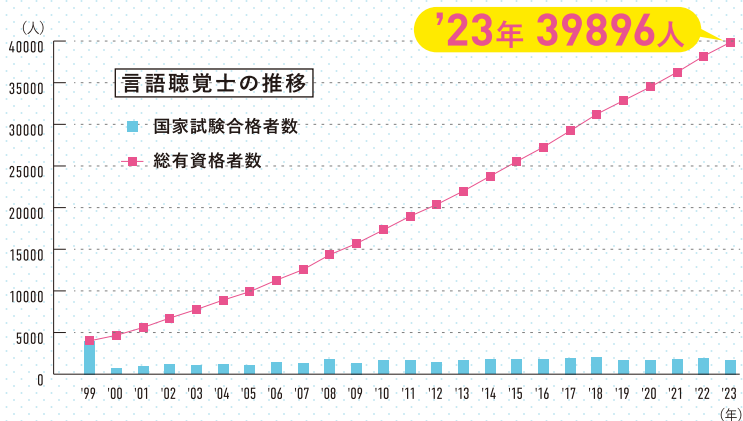
言語聴覚療法学士（専門職）

取得可能資格

言語聴覚士国家試験受験資格

言語聴覚士の将来性は？

言語聴覚士は1997年に国家資格として制定された比較的新しい職種です。現在、日本国内には約4万人の言語聴覚士がいますが、言語聴覚士はその他のリハビリ職と比べて人数が少なく、高齢化が進む現代社会で益々需要が高まっています。

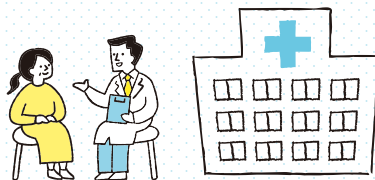


将来の活躍の場は？

医療施設や介護・福祉施設など、活躍の舞台は多方面に広がっています

STAGE 01 医療施設

<国立病院機構・公立病院・大学病院・民間病院・診療所など>
コミュニケーションの改善や維持を言語聴覚療法により図ります。



STAGE 02 介護・福祉施設

<介護老人保健施設・児童発達支援センターなど>
主に障害から生じるコミュニケーション能力・生活の質の改善や維持を言語聴覚療法により図ります。



学校法人藍野大学での取り組み

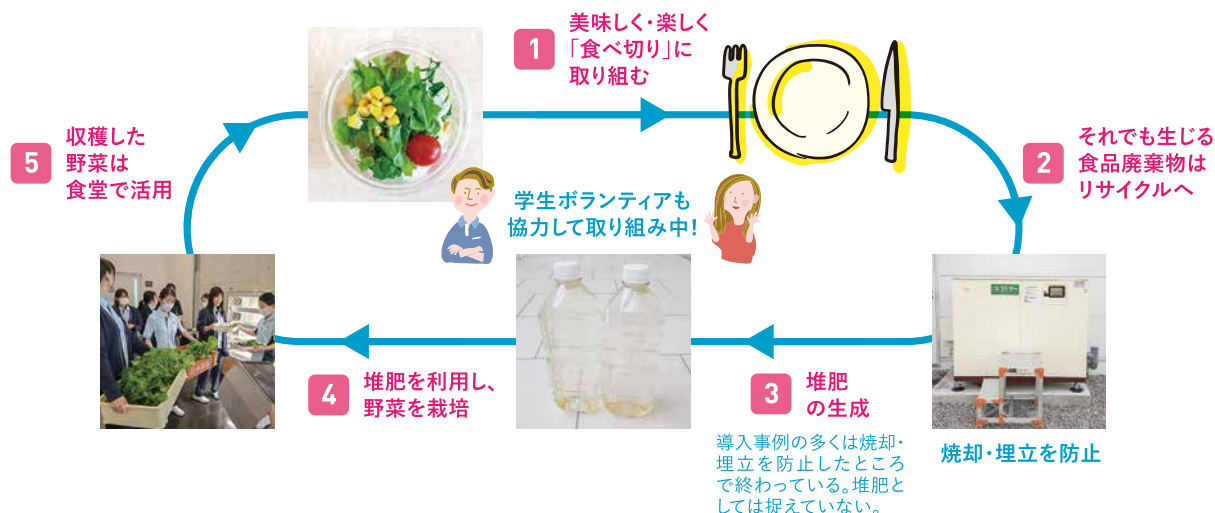
わたしたちは、みなさんの健康を守る食の大切さと、「もったいない」の気持ちを育む取り組みを継続し、みなさんと一緒にさまざまな課題を解決していきます。いろいろな意見を聞かせてください。



取組 1

食品廃棄物由来の堆肥を活用した野菜栽培の取り組み

藍野大学では、学生食堂循環サイクルを構築し、食品廃棄物を有効利用する取り組みを実践しています。食品廃棄物由来の堆肥を生成し、野菜を栽培。その収穫した野菜を学生食堂で活用しています。活動には学生サークルが参加し、自身の手で循環サイクルを創出・持続可能性の体験をしています。



取組 2

食品ロスに関する取り組みの見える化

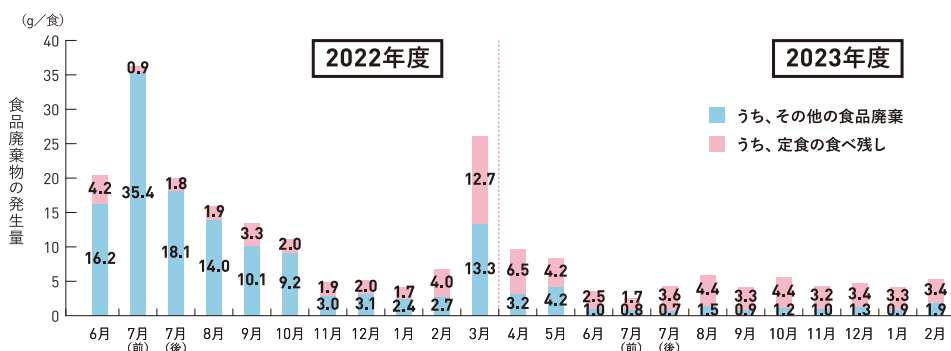
取り組みを一部のものにすることなく、一人ひとり、社会全体の問題として捉えるため、見える化にも取り組んでいます。学生ボランティア制作による啓発ポスター、ホームページでの発信や、学生食堂内にパネルを設置。パネルでは食品ロス事情や学生食堂から出た食べ残し量、食品ロス削減に向けた取り組み実績などの紹介もしています。



取組 3

学生食堂の食品廃棄物の推移

学生食堂では食品廃棄物(食べ残し・調理くず)の量を計測しており、食べ残し(■)は2年間低水準で推移しています。ご飯の量を選べるようにしたり、学校で連携して提供する食事の量を調整するなど、継続した食品ロス削減の取り組みが寄与していると考えられます。また、調理くず(■)が大幅に減少しており、調理者側の日々の努力が伺えます。



取組 4 食品ロスを知り削減に取り組むためのアンケート調査を実施

学生・生徒、教職員の食品ロスに対する意識を把握するために、また、食品ロスを知る・削減に取り組むきっかけ作りのためにアンケート調査を実施しました。

第1回実施(啓発前):2023年7月4日～7月10日

第2回実施(啓発後):2023年12月13日～12月22日

アンケートでは「食品ロスという言葉の認識があるか」「食品ロスを減らすべきだと思うか」「減らすための行動をしているか」など聞き取りました。本学での食品ロスへの意識はもともと高いものでしたが、啓発前と啓発後では、特に高校生と学生ボランティア経験者に意識の高まりが見られました。これまでの継続的な取り組みが浸透したと考えられます。食品ロスの意識づけに役立った取り組みとして、学食利用者は、「学生がデザインした食品ロス削減啓発パネル」や「食堂メニューのごはん量の指定」など、学食内で接する機会があるものを支持しており、学食内での啓発活動は一定の効果があると考えられます。学食を利用していない者は、「食品ロスに関するアンケート調査」や「食品ロス削減ガイドブックの配布」の支持が強くありました。これからも様々な活動、そして全体にゆき届く情報発信で意識の向上をめざしてまいります。



これからも意識・行動し、食品ロス削減に取り組んでいきましょう!

AINO TOPICS

2

学校法人藍野大学におけるSlack活用

社会・経済が“アナログ”から“デジタルを活用”する時代の変化に合わせ、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が進展する社会を牽引する教育機関となるべく、大学、専門職大学、短期大学、高等学校の全ての学生・生徒、教職員に2022年度よりメッセージプラットフォームslackを導入しました。

本ツールは学生・生徒、教職員をつなぐコミュニケーションツールとして活用し、学生・生徒に対して、つながりの場を提供します。

電話や対面に抵抗を感じる若者にとって、普段使い慣れているSNSのほうが、気持ちや思いを率直に打ち明けやすいことは当然のことと考えられます。このような若者世代の意識や行動を理解し、本学では学生・生徒が普段は相談しづらいことも気軽且つ早期に場所を選ばず、教職員に相談できるslack相談窓口を設けて、孤独・孤立のないスクールライフの実現を目指しています。また2024年度には、近年増加している自然災害に備え、ひとつのプラットフォームで学生・生徒の安否を確認し、情報集約できるツールとしてもslackの発展的な利用を可能にします。

さらに、明浄学院高等学校では生徒だけではなく、保護者との連絡手段として、slackゲストアカウントの配布を行いました。全国的にも通信制高等学校以外でのslackの利用は珍しく、保護者が参加したslackの運用は非常に稀なモデルケースとして、サービスを提供するSalesforce社からも注目されており、2024年度から教職員、保護者、生徒間のコミュニケーションツールとして本格運用を開始しています。



オンラインウェビナーの様子

slack ってなに?

学生・生徒、教職員や保護者などを繋ぐ、組織の枠を超えた多様でシームレスな“学びの場”を実現するコラボレーションハブです。

ITツールの効率化



1つの場所に情報を集約

コミュニケーションプラットフォーム



コミュニティの交流のための空間を創出

シングルサインオン



高い情報セキュリティの確保



学校法人藍野大学の主な活動実績

教育機関向けオンラインウェビナーの開催「Slackでつながる未来～大学が進化するコラボレーションの手法とは?～」▶ <https://slack.com/int/ja-jp/events/education-seminar>

藍野大学

2024年4月、藍野大学大学院に「健康科学研究科」を開設

～「すこやかに暮らしたい」その思いに寄り添うために～

認知領域と身体領域の両面から健康増進を科学的に探究し、「一生涯すこやかに暮らしたい」そんな思いに寄り添う医療の専門家を養成するため、2024年4月、藍野大学大学院に健康科学研究科を開設しました。健康科学に関わる諸問題に対して、スポーツ科学、身体構造学、認知科学等の観点から健康増進を総合的かつ多角的に捉え、国や地域における健康寿命延伸事業推進に寄与することを念頭においた、新たな健康科学研究を自律的に行っていく教育・研究者を養成します。

専攻分野・領域

- 認知健康科学領域
 - 認知健康科学Ⅰ・Ⅱ
- 身体健康科学領域
 - 身体健康科学Ⅰ・Ⅱ



カンパーニュとスープのお店 pas à pas(パザパ)が学内にオープンしました!

MLC1階にパンやスイーツ、ドリンクを提供するカフェがオープン。ランチタイムには総菜パン、午後からは菓子パンやワッフルなど学生のリクエストから誕生したメニューが並びます。

月～金
9:00 - 18:00
OPEN!



びわこリハビリテーション専門職大学

2024年4月、「言語聴覚療法学科」を開設 同時にびわこ八日市キャンパスを開設

びわこ八日市キャンパスは、近江鉄道八日市駅から徒歩3分!
自家用車での通学も可能です

理学療法士、作業療法士に加え、滋賀県で初となる言語聴覚士養成校として、企業や自治体、地域と連携した教育を展開することにより、更なる地域共生社会の実現に貢献します。1年次(新設の言語聴覚療法学科は2年次まで)の授業はびわこ八日市キャンパスで、2年次以降の授業は既設のびわこ東近江キャンパスで行います。教育設備・交通の利便性の充実により、学習環境の向上を図ります。



大阪市阿倍野区と「連携協定書」を締結

2024年3月5日、藍野大学短期大学部と大阪市阿倍野区は連携協力に関する協定書を締結しました

藍野大学短期大学部は、2025年4月より大阪市阿倍野区の新キャンパスへ移転を予定しています。今後、互いの発展と地域社会や市民生活の充実に寄与することを目的とし、以下の実現可能な範囲において、連携協力を行います。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 防災に関すること |
| 2 | 防犯・交通安全に関すること |
| 3 | 子ども・子育て支援に関すること |
| 4 | 福祉・健康づくりに関すること |
| 5 | 地域コミュニティの活性化・まちづくりに関すること |
| 6 | 地域の人材育成に関すること |
| 7 | その他本協定の目的達成のため必要な事項に関すること |



協定書締結式の様子

左：藍野大学短期大学部 学長 足利学氏、
右：大阪市阿倍野区 区長 山田国広氏

明浄学院高等学校

明浄学院高等学校にて国際交流実施

2024年5月22日、マレーシア国民大学の学生が来校

明浄学院高等学校は2010年からユネスコスクールに加盟しています。「これからの多様な変化に富んだ社会、変容する国際社会の中でも、自分の考えで行動し、活躍、貢献できる人材の育成」を掲げ、ESD(持続可能な開発のための教育)の学習・実践の中で国際理解の推進に努めています。国際交流の一環として、2024年5月にマレーシア国民大学の学生を招き、普通科総合キャリアコース総合進学専攻の授業で、大阪のこと、好きなこと、日本のことなど「私たちのこと」について話し合いました。また、マレーシアの「ろうけつ染め」を体験し、互いの文化を教え合いながら異文化について考え、日本の文化を改めて見つめる機会となりました。放課後はMEIJO UNESCO部の生徒が中心となり、看護実習室や、作法室など校舎を案内し、2024年3月に完成した新校舎に「すごい!」と感嘆の声も聞こえ、生徒も誇らしげにしているのが印象的でした。今後も、明浄学院高等学校はグローバル化する社会に向けて継続して国際交流事業に取り組んでいく予定です。



明浄学院高等学校 衛生看護科2年生の「戴帽式」を実施

2024年5月18日、明浄学院高等学校 衛生看護科として初めての「戴帽式」に2年生(112名)が出席しました

2024年4月、(旧)藍野高等学校 衛生看護科は明浄学院高等学校に統合され、明浄学院高等学校 衛生看護科として大阪阿倍野キャンパス(大阪市阿倍野区文の里)において新たなスタートを切りました。藍野高等学校は、2007年以降、大阪茨木キャンパス(茨木市東太田)において、准看護師の資格を取得した1300名を超える生徒たちを卒業生として送り出してきました。その多くが、藍野大学短期大学部第一看護学科(2年制)に進学し、「高校3年+短大2年」の通算5年間で、短期大学士の学位をもつ看護師となって活躍しています。大阪阿倍野キャンパスへの移転に伴い、藍野高等学校の在校生と衛生看護科のカリキュラムは、そのまま新しい「明浄学院高等学校 衛生看護科」に引き継がれました。現在では、明浄学院高等学校は「衛生看護科」、「普通科」を合わせると、全校生徒数900名を超える高校となりました。藍野大学短期大学部も2025年4月に大阪阿倍野キャンパス(大阪市阿倍野区文の里)に移転予定で、明浄学院高等学校との高大連携、高大接続により一層の進展が期待されます。



2023年度 学校法人藍野大学 決算

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部			
科 目	2023年度末	2021年度末	増 減
固定資産	21,037,509	19,649,974	1,387,534
有形固定資産	20,807,093	19,018,777	1,788,315
特定資産	200,000	600,000	△ 400,000
その他の固定資産	30,416	31,197	△ 780
流動資産	3,080,863	2,299,311	781,552
資産の部合計	24,118,372	21,949,286	2,169,086
負債の部			
科 目	2023年度末	2022年度末	増 減
固定負債	4,470,382	2,066,268	2,404,113
流動負債	3,266,466	3,279,655	△ 13,188
負債の部合計	7,736,848	5,345,924	2,390,924
純資産の部			
科 目	2023年度末	2022年度末	増 減
基本金	22,568,078	23,094,369	△ 526,291
繰越収支差額	△ 6,186,554	△ 6,491,007	304,453
純資産の部合計	16,381,523	16,603,362	△ 221,838
負債及び純資産の部合計	24,118,372	21,949,286	2,169,086

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。
※「増減」欄は、「2023年度末」欄から「2022年度末」欄の金額を控除した金額となっています。

資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,763,250	3,755,080	8,169
手数料収入	71,204	59,675	11,528
寄付金収入	20,480	13,171	7,308
補助金収入	1,138,656	1,149,259	△ 10,603
資産売却収入	287,450	324,530	△ 37,080
付随事業・収益事業収入	112,935	107,863	5,071
受取利息・配当金収入	2,448	2,455	△ 7
雑収入	72,278	90,105	△ 17,827
借入金等収入	2,737,000	2,731,000	6,000
前受金収入	2,673,844	2,472,292	101,551
その他の収入	451,592	522,703	△ 71,110
資金収入調整勘定	△ 2,761,434	△ 3,009,314	247,879
前年度繰越支払資金	2,246,952	2,246,952	
収入の部合計	10,816,655	10,565,778	250,876
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,546,000	2,539,394	6,605
教育研究経費支出	1,227,451	1,201,278	26,173
管理経費支出	593,043	509,369	83,674
借入金等利息支出	16,935	22,299	△ 5,364
借入金等返済支出	219,866	219,866	0
施設関係支出	2,985,473	3,026,024	△ 40,551
設備関係支出	289,868	202,945	86,923
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	219,376	210,754	8,622
予備費	(¹⁹⁰⁸) 13,734		13,734
資金支出調整勘定	△ 92,456	△ 177,555	85,098
翌年度繰越支払資金	2,797,363	2,811,401	△ 14,037
支出の部合計	10,816,655	10,565,778	250,876

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。

事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支				
科 目		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,763,250	3,755,080	8,169
	手数料	71,204	59,675	11,528
	寄付金	20,480	13,933	6,546
	経常費等補助金	849,483	870,131	△ 20,693
	付随事業収入	112,935	107,863	5,071
	雑収入	72,278	90,923	△ 18,645
	教育活動収入計	4,889,585	4,897,608	△ 8,023
事業活動支出の部	人件費	2,546,000	2,539,394	6,605
	教育研究経費	1,653,396	1,616,340	37,056
	管理経費	626,200	552,441	73,759
	徴収不能額等	0	1,255	1,255
	教育活動支出計	4,825,597	4,709,430	116,166
教育活動収支差額		63,987	188,177	△ 124,189
教育活動外収支				
科 目		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	受取利息・配当金	2,448	2,455	△ 7
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2,448	2,455	△ 7
事業活動支出の部	借入金等利息	16,935	22,299	△ 5,364
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	16,935	22,299	△ 5,364
教育活動外収支差額		△ 14,487	△ 19,844	5,357
経常収支差額		49,500	168,333	△ 118,832

特別収支				
科 目		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	資産売却差額	449	1,208	△ 758
	その他の特別収入	289,218	283,562	5,655
	特別収入計	289,667	284,771	4,896
事業活動支出の部	資産処分差額	688,404	674,942	13,461
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	688,404	674,942	13,461
特別収支差額		△ 398,736	△ 390,171	△ 8,564
予備費		(¹⁹⁰⁸) 15,909		15,909
基本金組入前当年度収支差額		△ 365,145	△ 221,838	△ 143,306
基本金組入額合計		△ 810,024	203,129	△ 1,013,153
当年度収支差額		△ 1,175,169	△ 18,708	△ 1,156,460
前年度繰越収支差額		△ 6,491,007	△ 6,491,007	0
基本金取崩額		1,373,353	323,161	1,050,191
翌年度繰越収支差額		△ 6,292,823	△ 6,186,554	△ 106,269

(参考)

事業活動収入計	5,181,700	5,184,835	△ 3,134
事業活動支出計	5,546,846	5,406,673	140,172

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。
※「差異」欄は、「予算」欄から「決算」欄の金額を控除した金額となっています。

活動区分資金収支計算書

(単位:千円)

教育活動による資金収支		その他の活動による資金収支	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,755,080	借入金等収入	2,731,000
手数料収入	59,675	貸付金回収収入	121
特別寄付金収入	12,896	預り金受入収入	86,544
一般寄付金収入	275	仮払金回収収入	29
経常費等補助金収入	870,131	仮受金受入収入	141
付随事業収入	107,863	小計	2,817,835
雑収入	90,105	受取利息・配当金収入	2,455
教育活動資金収入計	4,896,029	その他の活動資金収入計	2,820,291
人件費支出	2,539,394	借入金等返済支出	219,866
教育研究経費支出	1,201,278	仮払金支払支出	1,463
管理経費支出	509,369	仮受金支払支出	359
教育活動資金支出計	4,250,042	小計	221,688
差引	645,986	借入金等利息支出	22,299
調整勘定等	△ 157,896	その他の活動資金支出計	243,988
教育活動資金収支差額	488,090	差引	2,576,303
施設整備等活動による資金収支		調整勘定等	0
科 目	金 額	その他の活動資金収支差額	2,576,303
施設設備寄付金収入	0	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	564,448
施設設備補助金収入	279,128	前年度繰越支払資金	2,246,952
施設設備売却収入	324,530	翌年度繰越支払資金	2,811,401
第2号基本金引当特定資産取崩収入	400,000		
施設整備等活動資金収入計	1,003,659		
施設関係支出	3,026,024		
設備関係支出	202,945		
施設整備等活動資金支出計	3,228,970		
差引	△ 2,225,311		
調整勘定等	△ 274,633		
施設整備等活動資金収支差額	△ 2,499,945		

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。

寄付金の状況

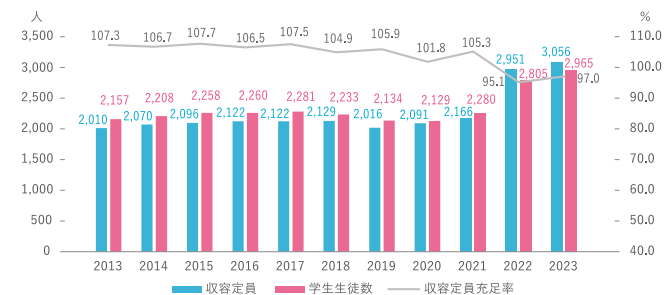
本法人は租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項第2号に規定する要件を満たす法人として、卒業生や保護者、教職員、民間団体・企業などを対象とし、本法人が設置する学校の校舎増改築および設備充実事業その他教育活動の充実のために必要な経常経費に充当することを目的に寄付金募集を行っています。2023年度は、大阪阿倍野キャンパスプロジェクト(明浄学院高等学校校舎建設)に係る特別寄付を募集しました。

2023年度 寄付金募集状況

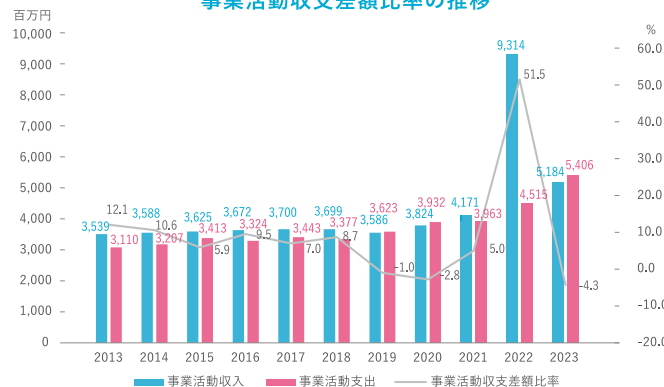
(単位:千円)

対 象	種 類	件 数	金 額
4月～3月	一般寄付金収入	11件	275
	特別寄付金収入	271件	12,896

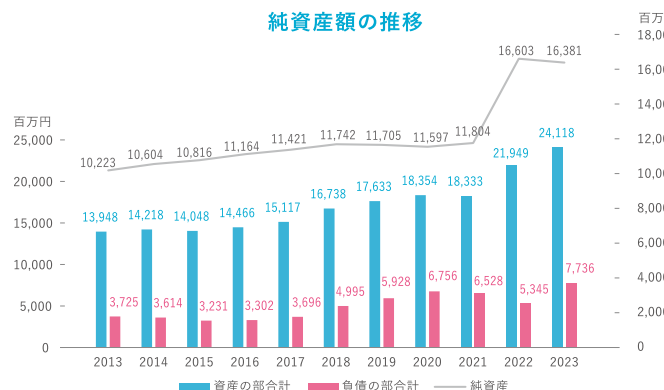
学生生徒数及び収容定員充足率の推移



事業活動収支差額比率の推移



純資産額の推移



※2022年度に明浄学院高等学校を本法人の設置校としたことに伴い、数値が大きく変動しています。

補助金の状況

2023年度における補助金交付額は1,149,259千円となりました。
内訳は以下のとおりです。

(単位:千円)

補助金名称	対象校	交付額
私立大学等経常費補助金	大学・短期大学部	229,580
授業料等減免費交付金	大学・専門職大学・短期大学部	172,770
大阪府私立高等学校等経常費補助金	高等学校	338,683
大阪府他高等学校等授業料支援補助金	高等学校	125,997
大阪府私立高等学校等就学支援金事務費他	高等学校	3,100
令和5年度私立学校施設整備費補助金他	高等学校他	67,791
私立学校振興事業費補助金他	専門職大学	196,500
都市緑化を活用した猛暑対策事業補助金	大学	14,837
合 計		1,149,259

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。

寄付金募集のご案内

当法人では、学術研究や教育等の充実・発展のために寄付を募集しています。
教育・研究を通じ、これからも社会に貢献していきます。
本学の各種活動にご支援いただきますようお願い申し上げます。

寄付金募集要項 特定公益増進法人指定寄付金

募集目的

■藍野大学、びわこリハビリテーション専門職大学、藍野大学短期大学部の教育・研究設備を充実させ、学生が一層学びやすく快適に過ごせる修学環境の向上に活用いたします。
■明浄学院高等学校の教育環境の整備及び教育内容の充実を図り、生徒がより充実した学校生活を過ごすための事業に活用いたします。

募集目標額

1億円

募集期間

2023年4月1日～2028年3月31日

個人情報の取り扱い

ご寄附に伴って取得した個人情報は、寄附金領収書・礼状の送付、官公庁の求めによる報告等の当法人の寄附関連業務においてのみ使用し、ご本人の承諾がない限り、利用目的以外に個人情報を使用することはありません。

募集方法

1. 募集金額

個人 1口3,000円 ※口数に関わらずありがたく承ります。
法人・団体 1口の金額は特に定めておりません。

2. 募集対象

在学生の保護者、卒業生、教職員、その他本学事業に賛同いただける個人及び企業・団体など。

3. 申込方法

個人 当法人のゆうちょ銀行口座への送金
法人・団体 法人事務局総務センター経理グループまでお問い合わせください。

4. 払込方法

ゆうちょ銀行口座への送金
ご利用手順 1) AINOTE(アイノテ) 同封の振込用紙をご利用ください。
振込用紙がお手元にない場合はお送りしますので、法人事務局総務センター経理グループまでご連絡ください。
2) 「払込取扱票」に必要事項をご記入のうえ、ゆうちょ銀行(郵便局)の窓口、またはゆうちょ銀行ATMでお振込みください。

注意事項

1) お取扱金額が10万円を超える場合は、本人確認書類を提示する必要があります。2) 払込控(受領証)は寄附受領書がお手元に届くまで大切に保管願います。3) 2022年1月17日より、ゆうちょ窓口及びゆうちょATMから現金でご寄附をいただく場合には、現金利用手数料(110円)が払込人負担となります。ゆうちょの総合口座から払込む場合は従来どおり加算料金はかかりません。4) お振込後のご変更・ご返金等はできません。

税法上の優遇措置について - 寄付することで、税金が控除される制度があります -

学校法人藍野大学は、文部科学省より「税額控除対象法人」および「特定公益増進法人」の認可を受けております。個人様からの本法人へのご寄附は、**所得税の「税額控除」または「所得控除」のいずれかを受けることができます。さらに、お住まいの地域によっては、住民税の「税額控除」の対象になります。**
※ご家族に本法人が設置する各学校(高等学校・短期大学・大学)に入学または受験を予定されている方がおられる場合、賜りました寄附金は寄附金控除の対象外となりますので、ご注意ください。

個人

寄付金控除には確定申告が必要です

ご寄附いただきました際には、本法人が発行する「寄附金領収証」および「寄附金控除の証明書」をお送りしますので、確定申告の際には、双方を所轄税務署へご提出ください。◎確定申告書作成等の詳細については、国税庁のHPまたは所轄税務署でご確認ください。

領収書の発行

当法人の口座へ入金された日を寄附金領収証発行日として寄附金受領書を発行いたします。寄附金税額控除または所得控除の対象年は、領収証の発行日の属する年(1月～12月)が対象となりますので、12月下旬に払い込まれる場合はご注意ください。

個人からのご寄附と確定申告の流れ

STEP 1

STEP 2

STEP 3

税務署

寄附者の皆様

学校法人藍野大学

郵便振込等での
ご寄附

寄附金受領書と
証明書の受領

寄付金の受領

税務上の優遇措置
(所得税控除
(税額控除または所得控除)
住民税控除)

寄附金受領書等を添え
確定申告

寄附金受領書と
証明書の送付

参考：寄附金控除額の目安
(本表は「目安」であり、還付される金額をお約束するものではありません。)

寄附金額	課税所得金額 300万円		課税所得金額 500万円		課税所得金額 700万円		課税所得金額 1,000万円	
	税額控除	所得控除	税額控除	所得控除	税額控除	所得控除	税額控除	所得控除
5千円	1,200	300	1,200	600	1,200	690	1,200	990
1万円	3,200	800	3,200	1,700	3,200	1,840	3,200	2,640
5万円	19,200	4,800	19,200	9,600	19,200	11,040	19,200	15,840
10万円	39,200	9,800	39,200	19,600	39,200	21,100	39,200	32,340
50万円	50,625	49,800	143,125	99,600	199,200	101,100	199,200	164,340
100万円	50,625	99,800	143,125	199,600	243,500	201,100	399,200	329,340

※1 課税所得金額は、源泉徴収票でご確認ください。*課税所得金額=給与所得控除後の金額-所得控除の額の合計額。※2 税額控除の対象となる寄附金額は、その年の総所得金額等の40%が上限となります。また、税額控除額は所得税額の25%が上限となります。※3 所得控除の対象となる寄附金額は、その年の総所得金額等の40%が上限となります。

法人

法人様からの当法人へのご寄附については、法人税法に基づき、寄附金額が当該事業年度の損金に算入できます。寄附金全額を損金算入できる「受配者指定寄附金」制度と、一般の寄附金の損金算入限度額とは別枠で一定額まで損金算入できる「特定公益増進法人に対する寄附」のいずれかを選択いただけます。**税制上のメリットがより大きい受配者指定寄附金をお勧めいたします。**

1. 受配者指定寄附金

日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄附者が指定した学校法人に寄附していた制度で、**寄附金全額が当該事業年度の損金に算入**できます。確定申告には日本私立学校振興・共済事業団発行の「寄附金受領書」が必要です。この「寄附金受領書」は、当法人を経由してお送りします。
※手続きには、日本私立学校振興・共済事業団発行の受領書が必要となります。諸手続きの関係上、寄附金を入金いただくから2か月ほどを要しますので、ご寄附をいただく際には、ご寄附いただく時期と決算期にご注意ください。

■ 受配者指定寄附金の流れ

STEP 1

STEP 2

STEP 3

ご寄附くださる法人

学校法人藍野大学

日本私立学校振興・共済事業団

事業団指定寄附申込書

寄附申込書の確認

寄附申込書と
寄附金の受領

寄附金の払込

事業団へ寄附申込書の
転送と払い込まれた
寄附金を事業団に送金

寄附申込書と
寄附金の受領

寄附金受領書の受領

寄附金受領書の転送

寄附金受領書の発行

2. 特定公益増進法人に対する寄附

当法人へのご寄附は、特定公益増進法人に対する寄附金(特定寄附金)として、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で次の額を限度として損金に算入することができます。

特別損金算入限度額

= (資本金等の額 × 当期の月数 / 12 × 0.375%
+ 所得の金額 × 6.25%) × 1/2

なお、特定公益増進法人に対する寄附金(公益法人等が支出したものを除きます。)の額のうち上記の特別損金算入限度額を超える部分の金額は、一般の寄附金に係る損金算入限度額の範囲内で損金の額に算入されます。

大阪茨木キャンパス



藍野大学

大学院
看護学研究科
医療保健学部
看護学科
理学療法学科
作業療法学科
臨床工学科

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4
TEL:072-627-1711/FAX:072-627-1753



藍野大学短期大学部

第一看護学科
専攻科(地域看護学専攻)

〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25
TEL:072-626-2361/FAX:072-621-1901

藍野大学中央研究施設

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4
TEL:072-627-1711/FAX:072-627-1753

藍野大学中央図書館

〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25
TEL:072-625-6369/FAX:072-627-3355

藍野大学キャリア開発・研究センター

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4
Medical Learning Commons 1F
TEL:072-627-7878/FAX:072-627-7997

藍野大学短期大学部

メディカル・ヘルスイノベーション研究所

〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22 アイノピアビル2F
TEL:072-626-2361/FAX:072-621-1901

あいの発達支援

リハビリ訪問看護ステーション

TEL:072-627-7896/FAX:072-626-2414

法人事務局

〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22 アイノピアビル3F
TEL:072-621-3764/FAX:072-621-3756

大阪富田林キャンパス



藍野大学短期大学部

第二看護学科

〒584-0076 大阪府富田林市青葉丘11-1
TEL:072-366-1106/FAX:072-366-1107

大阪阿倍野キャンパス



明浄学院高等学校

普通科
看護メディカルコース
総合キャリアコース
衛生看護科

〒545-0004 大阪府大阪市阿倍野区文の里3-15-7
TEL:06-6623-0016/FAX:06-6627-1165

びわこ東近江キャンパス



びわこリハビリテーション専門職大学

リハビリテーション学部
理学療法学科
作業療法学科
言語聴覚療法学科

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967
TEL:0749-46-2311/FAX:0749-46-2313

更に詳しい情報を知りたい方はこちらもCHECK!!



公式ホームページ



公式YouTube



デジタルパンフレット



DM登録情報の変更、配信停止



